



2025年8月27日

各 位

会 社 名 ジェイフロンティア株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 中村 篤弘  
(コード番号：2934 東証グロース)  
問合せ先 取締役執行役員 CFO 経営企画本部長  
樋口 雄也  
電話番号 03-6427-4662 (代表)

株式会社 shake-hands の株式取得（子会社化）に関する基本合意書締結のお知らせ

当社は、2025年8月27日開催の取締役会において、株式会社 shake-hands（以下「shake-hands 社」という。）の全株式を取得し、子会社化することを目的とした基本合意書を締結することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式取得（子会社化）の理由

当社グループは、「人と社会を健康に美しく」を経営理念に掲げ、事業を推進しております。未病・予防→疾病→未病・予防という人々のヘルスケアサイクルにおいて、「疾病期間」の短縮化に向けては、オンライン診療のプラットフォーム「SOKUYAKU」を中心とした SOKUYAKU 事業の拡大を図っており、「未病・予防期間」の長期化に向けては、人々の健康増進と生活の質向上に資する自社オリジナルの医薬品・健康食品・化粧品を販売する D2C 事業（EC・通販事業）を展開しています。また、クライアント企業に対してマーケティング支援を提供し、ヘルスケア領域における価値創出を支援する B2B 事業を展開しております。これらの事業を有機的に連携させることで、当社グループは顧客価値の最大化と事業の持続的成長を実現しております。

昨今の EC 業界においては、ポイント還元などのインセンティブや商品比較の容易さなどの利便性を求める消費者ニーズの高まりにより、大手 EC モールの存在感が一層高まっております。こうした EC モールは、集客力や販売促進機能に優れており、出店企業にとっても新規顧客の獲得やブランド認知の向上といった面で重要性を増しております。また近年では、EC モールと自社 EC サイトの間で顧客が相互に流入するケースも増加傾向にあり、モール経由でブランド認知した顧客が自社 EC サイトに訪問・購入する事例や、逆に自社 EC サイトでの広告施策を通じて EC モール内の商品ページへの流入が発生するなど、チャネル間の連携が業績に与える影響も大きくなっております。このような観点からも、EC モールは単なる販売チャネルにとどまらず、ブランド戦略全体における重要な接点としての役割を担っております。

こうした市場環境を踏まえ、当社の B2B 事業においては、商品の特性やブランドイメージに応じて著名人等を起用した商品のプロモーションを行うキャスティング事業や、今年6月に開始した TikTok

Shop 運用支援サービスをはじめとするライブコマース運用支援事業等により、クライアントである EC 事業者向けの売上最大化を支援しております。

shake-hands 社は、2020 年 2 月に設立され、主に EC 事業者向けに EC モールのマーケティング施策をはじめとする EC モール支援事業やコンテンツマーケティング事業等を展開しております。中核事業である EC モール支援事業においては、各 EC モールの構造や仕組みを深く理解し、それぞれのサイト特性に最適化されたマーケティング施策を立案・実行できる高度なノウハウを有しております。さらに、shake-hands 社はインフルエンサーを含む 10 万人を超える人材ネットワークを有しており、クライアントの要望に応じた様々な施策の提案・実行ができることも同社の強みとなっております。設立以降、shake-hands 社は毎期業績を大きく伸ばしており、現在では取引社数は上場企業を含め 400 社を超え、支援したブランド数は 1,000 種類以上にのぼる実績を有しております。

この度の shake-hands 社の子会社化により、クライアントである EC 事業者向けには、キャストティングやライブコマース等の施策に加え、EC モール支援を含むクロスセルの展開が可能となります。さらに、当社のライブコマース支援事業においては、shake-hands 社が保有するインフルエンサーネットワークを活用することが可能となり、両社のアセットを融合することで、顧客価値の最大化につながるものと考えております。

加えて、shake-hands 社の有する高度なマーケティングの知見は、当社グループの SOKUYAKU 事業及び D2C 事業におけるマーケティング施策の高度化に資するものであり、グループ全体のブランド力・顧客獲得力の向上に寄与すると見込んでおります。また、社内のマーケティング人材育成においても、shake-hands 社のノウハウを活用することで、専門性の高い人材の育成が可能となり、長期的な組織力強化につながると考えております。

以上のように、shake-hands 社を子会社化することが当社グループの更なる事業拡大・競争力強化に繋がるものと判断されたことから、同社と株式取得（子会社化）に関する基本合意書を締結することを決定いたしました。

本件M&Aにより、ECモール支援やインフルエンサーを活用したライブコマース支援の機能を強化

**JF JFRONTIER**

人と社会を健康に美しく



**shake-hands**

繋ぐ・掴む・広げる

キャストティング



ライブコマース



EC事業者



ECモール支援



10万人規模の  
提携インフルエンサー



## 2. 株式を取得する会社の概要

(1) 名 称	株式会社 shake-hands		
(2) 所 在 地	東京都港区浜松町2丁目2番15号2F		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 近藤 亮		
(4) 事 業 内 容	EC モール支援事業、コンテンツマーケティング事業		
(5) 資 本 金	1百万円		
(6) 設 立 年 月 日	2020年2月4日		
(7) 大株主及び持株比率	近藤 亮 60% 井上 泰孝 40%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	マーケティング関連業務の発注による取引関係がございます。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2023年1月期	2024年1月期	2025年1月期
純 資 産	46,491 千円	121,539 千円	266,717 千円
総 資 産	134,516 千円	237,875 千円	434,062 千円
1 株 当 たり 純 資 産	464,917.38 円	1,215,393.08 円	2,667,175.59 円
売 上 高	380,078 千円	714,530 千円	1,153,713 千円
営 業 利 益	37,884 千円	116,433 千円	228,137 千円
経 常 利 益	37,913 千円	116,421 千円	228,030 千円
当 期 純 利 益	25,375 千円	75,047 千円	145,178 千円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	253,758.44 円	750,475.70 円	1,451,782.51 円
1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—

### 3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	近藤 亮、井上 泰孝
(2) 住所	東京都江東区、東京都新宿区
(3) 上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はございません。

### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)
(2) 取得株式数	100株 (議決権の数：100個)
(3) 取得価額	取得価額は、財務・法務デュー・デリジェンスを実施し、客観的に合理的な評価方法に基づく評価額を考慮して妥当な金額を算出し、協議の上決定する予定です。
(4) 異動後の所有株式数	100株 (議決権の数：100個) (議決権所有割合：100%)

### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年8月27日
(2) 基本合意書締結日	2025年8月27日
(3) 株式譲渡契約締結日	2025年9月17日(予定)
(4) 株式譲渡実行日	2025年9月19日(予定)

### 6. 今後の見通し

本株式取得が予定通り実行された場合、shake-hands社は2026年5月期第2四半期より当社の連結子会社となる予定です。また、本件による当社の2026年5月期の業績への影響については、現在精査中であり、株式取得を正式に決定した後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上